

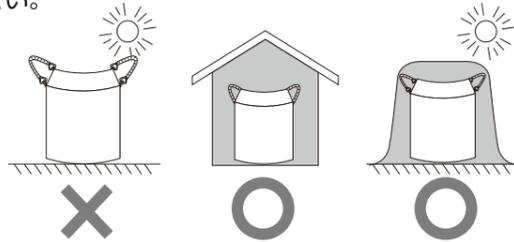


●充てん後の保管について

- ③保管場所は原則として直接地面に接することの無いようにパレット、シート等を敷いて下さい。
- ④屋外保管の場合は紫外線により劣化が生じますので、必ずバッグ全体にシートを掛けて下さい。
- ⑤火器、ボイラー、蒸気パイプ等熱源の近くには保管しないで下さい。
- ⑥床面が水、油、アルカリ等で汚れている場合や突起物の上には保管しないで下さい。
- ⑦荷崩れ防止のため、バックの2段積みは、おやめ下さい。

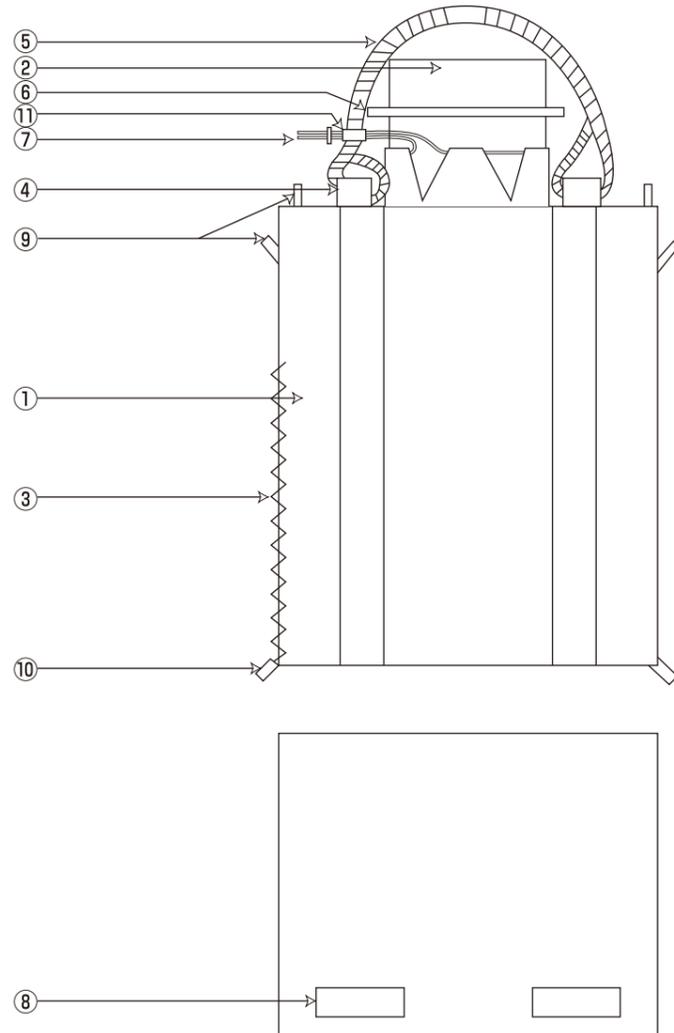
●2回以上使用する場合の空袋の保管について

- ⑧粉穀を排出した後は、残留物をきれいに出して、保管して下さい。
- ⑨空袋は、屋外に放置したり、日の差し込む倉庫の窓際に保管しないで下さい。紫外線により劣化が生じます。



[守らないと 紫外線による劣化が促進されロープ切れ、破裂など思わぬ事故の原因になる恐れがあります]

【7】各部名称



- ①本体
- ②投入口
- ③排出用ファスナー
- ④吊りベルト
- ⑤吊りロープ
- ⑥投入口結びテープ
- ⑦投入口ロープ
- ⑧フック
- ⑨投入口補助吊輪
- ⑩本体補助吊輪
- ⑪スライドパイプ

本 社 大 阪 府 豊 中 市 浜 1 丁 目 2 6 番 2 1 号
 〒561-0817 ☎(06)6332-7185 FAX.(06)6336-2623
<http://www.tanakasangyo.com>

ヌカロン コンテナ

クロスコンテナ

取扱説明書 安全作業説明書

ご使用前に必ずお読みください



注意

この取扱説明書を、ご使用前に最後まで必ずよくお読みいただき、正しい操作、取扱い、保管方法などをよく理解し、安全な操作でご使用ください。
この取扱説明書は、いつでもご覧になれるよう、大切に保管してください。



警告

製品を指定作業(粉穀搬送)以外には使用しないでください。
製品を改造して使用しないでください。

〈…危険防止の表示について…〉

この取扱説明書では、製品を安全にご使用していただくために重要な注意事項として守っていただきたく、次のように表示しています。



危険

その警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う危険性があるものを示しています。



注意

その警告に従わなかった場合、負傷するか又は、物的損害が発生する恐れがあるものを示しています。

 **TANAKA SANGYO**
 田中産業株式会社

この度は、ヌカロン® コンテナをお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。

この度は、ヌカロン[®] コンテナ(クロスコンテナ)を

お買い上げいただき誠に有難うございます。

安全で快適な農作業をしていただくためにも、正しい取扱をして下さるようお願い致します。

クロスコンテナの定義と、取り扱いについて

1. <定義>

クロススタンダード形

充てん・排出回数を数回又は1年を限度として使用するよう設定されたコンテナ。なお、この分類に該当するコンテナは、破損したものを使用したり、修理してはならない。ただし、取り外し可能な内装袋(内袋)の交換及び結束部品などの荷重を負担しないベルトなどの部品を交換して使用する場合、修理とはみなさない。

2. <取扱いの基本事項>

2-1 クロススタンダード形の製造メーカーによる品質保証は、フレキシブルコンテナ工業会の指針として納入日より1年または1回としております。1回目の使用時に製造上での問題で製品自体に不具合が発生したり、破損した場合は、メーカー保証としてコンテナの無料取替えなどいたします。

納入から1年を限度として数回使用可能なクロススタンダード形のコンテナであっても2回目以降の製品自体の保証はいたしません。納入日より一年経過したコンテナはご使用しないでください。

2-2 数回使用可能なクロススタンダード形コンテナでも、コンテナの定義にありますように修理しての再使用はできません。内装袋の取り替えは、修理とみなしませんが、しめベルトを除き、取り替え可能なつりベルトの交換は、荷重を負担するベルトの交換にあたり修理とみなされますのでご注意ください。

2-3 つりロープ、つりベルト及び接合部がすり切れていないか、糸がほつれていないか、入念に点検してください。この部分が痛んでいると、落下事故及び荷崩れが起こり非常に危険です。

2-4 クロススタンダード形のコンテナを再使用する場合でも、前述の点検を行い、使用上安全であることを確認してください。なお、前述のような異常現象が現れている場合危険ですから必ず廃棄してください。

【1】使用前点検

- ①ご使用前には必ずヌカロン[®] コンテナの各部を点検して下さい。
- ②吊りロープ・吊りベルト部に異常がないか特に念入りに点検して下さい。この部分に傷、劣化が生じると**落下事故がおこり非常に危険です**。
尚、コンテナを2回以上使用する場合は、使用前にコンテナの損傷による異常の有無などの点検を行い、使用上安全であることを確認して下さい。



危険

【守らないと 死亡事故や重大な傷害をまねくおそれがあります】

【2】粉穀投入作業

- ①ヌカロン[®] コンテナはグレンバックホルダー2型(別売)を組立て、それに掛けてご使用下さい。
- ②粉穀を投入する際は、パイプセット(別売)でヌカロン[®] コンテナ袋部と粉すり機の排出口をつなげてご使用下さい。
- ③粉すり機から投入した粉穀は、袋内部の中心にくる様に投入して下さい。
片寄った投入は、**転倒の原因にもなり危険です**。
- ④規定重量以上は充てんしないでください。破袋の原因となります。
- ⑤充てんが終わりましたら投入口結び紐で縛り、投入口結びロープを結んで下さい。



危険

【守らないと 転倒事故をおこした場合、死亡又は重傷を負うおそれがあります】

【3】運搬

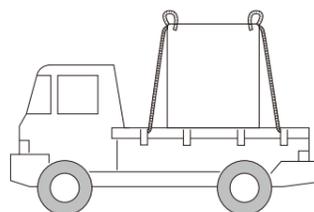
①ヌカロン[®] コンテナを荷台に載せて走行する時は**転倒防止のため、必ずロープを掛けて下さい**。

②運搬の際は、道交法を遵守し、安全運転をお願いいたします。



注意

【守らないと 荷くずれによる、転倒事故を起こす事があります】

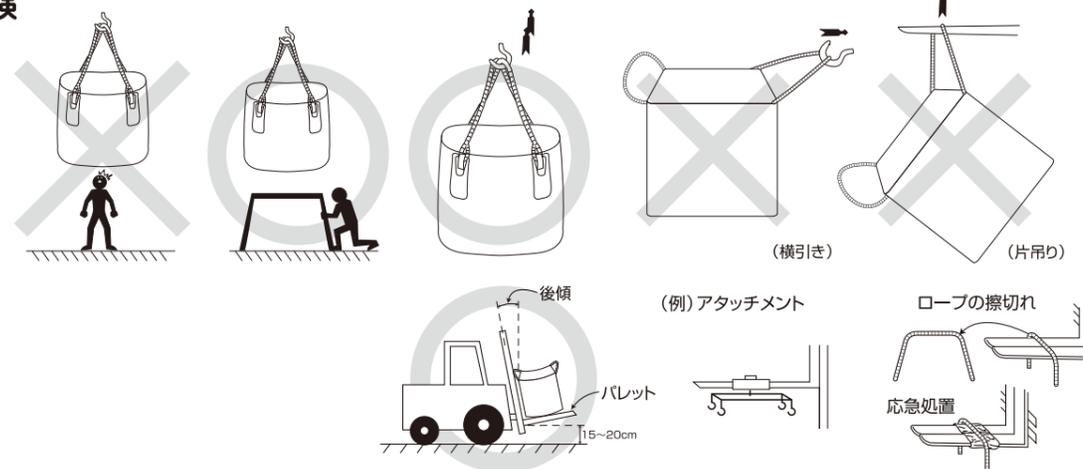


【4】荷役作業



危険

- ①作業中は吊り上げたバッグの下にははいらぬ下さい。**危険です**。
- ②バッグを吊り上げる際は吊り部全体に均等に荷重がかかるように吊り、片吊りにならないようにして下さい。**片吊りは落下の恐れがあり大変危険です**。



【動力クレーン使用の場合、クレーン及び玉掛の国家資格が必要です】



注意

- ①吊り部を外側に引かないで下さい。
- ②**急激な吊り上げ、吊り下ろし等のショックはかけないで下さい**。
- ③作業中に他の物に引っ掛けたり、当てたり、こすったりしないで下さい。
- ④フォークリフトの爪に直接ヌカロン[®] コンテナを吊り下げますと、本体のつり部とロープが破損する恐れがあります。[専用の吊りアタッチメントか適当なつり金具を使用して下さい。フォークリフトの爪に布などの当て物(丸みのあるさやフォーク等)を使用して下さい。フォークリフトの爪を広げすぎないようにして下さい。]
- ⑤フォークリフトで吊り上げた状態での長い距離の移動、又地面に凹凸のある場合、スピードの出し過ぎ、急停車、急発進は避けて下さい。フォークリフトの横転、ヌカロン[®] コンテナの吊り部を破損する恐れがあります。**(原則として積み込み以外の移動にはパレットを使用して下さい。)**

【守らないと ロープ切れ等による落下事故により、死亡又は重傷を負うおそれがあります】

【5】排出作業



危険

- ①排出の際は、袋部を置いた状態で、本体のファスナーを開き、粉穀を排出して下さい。
- ②ファスナーを開いた際粉穀の流出には気を付けて下さい。
- ③底に残った粉穀は本体側面にあるフックを使ってナナメに傾け排出して下さい。
ヌカロン[®] コンテナは吊り上げての排出は絶対にして下さい。

【6】保管



注意

- ご購入後、使用するまでの保管について
- ①使用前のバッグは梱包を解かず冷暗所にて水に濡らさないよう保管して下さい。
- ②使用前のバッグを屋外に放置したり、日の差し込む倉庫の窓際に保管しないで下さい。紫外線により劣化が生じます。

【守らないと ロープ切れ・破裂など思わぬ事故の原因になるおそれがあります】